

2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 日本医労連 ） 記入者（ 瀧川 ）

この一年間の取り組みの特徴について

★コロナ禍の中で医療労働者は使命感をもって奮闘するとともに、再認識された「日本の医療体制の脆弱さ」を踏まえ、独自にも、他団体・組織との共同行動でも、改善に向けて国や自治体への要請・懇談を実施しました。★介護の在り方が問われた「特養あずみの里」裁判に取り組み、逆転無罪判決を勝ち取りました。高齢者の尊厳と人間性を尊重した介護の未来を拓くものになりました。★政府がすすめる医療・介護提供体制の「一体改革」にたいするたたかいをすすめ、19秋のキャラバンをはじめ、1年をとおして医療関係団体、自治体などとの懇談・要請、街頭署名宣伝行動をすすめました。★「公立・公的病院等の統廃合」問題では、6団体での共同行動をすすめ、地域医療の拡充を追求しました。★20年4月からの診療報酬改定に関し、全国の「職場の声」を中医協委員へ届け、医療・介護の改善につながる改定を訴えました。★中央社保協・全労連社保闘争本部会議に結集し、年金・生保・国保など、さまざまな社保課題での取り組みを加盟組織に発信し、地域社保協との共同も含め、運動を推進しました。★社保協が呼びかける「4の日行動」「25日行動」をはじめとして、全国各地で加盟組織が地域社保協との共同も含め、署名宣伝行動をおこないました。また、「憲法・いのち・社会保障をまもる11・17国民集会」「第10回地域医療を守る運動全国交流集会」などにも積極的に取り組みました。

学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ

署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴

自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について

議員要請行動について(国会議員、地方議員等)

その他

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名(25条署名)」	1055
② 「介護改善署名」	14237
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「424共同・地域医療署名」	65727
⑧ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名」	3017
⑨ 「憲法改悪反対署名」	17210
⑩ 「夜勤改善・増員署名」	156584
⑪ 「424病院『再検証』要請撤回署名」	59527
⑫ 「全国一律最賃署名」	97042
2019年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 8月17日(月)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

第64回全国総会・文書発言用紙

※字数の制限はありません。ただし、当日発言は3分。
※発言資料についてもあわせて添付ください。

<組織名・発言者名>
日本医労連・五十嵐建一

<テーマ>
いのちまもる国会請願署名と秋の地域キャラバンの取り組み

<内 容>
～日本医労連定期大会のお礼～

日本医労連は、2020年7月28日に、Web会議システムにより第70回定期大会を開催し、医療・介護・福祉の産別運動前進にむけ、決意を固めました。

コロナ禍であらためて、利潤第一・効率優先で、社会保障を削り、格差と貧困を拡大させてきた新自由主義の問題点が浮き彫りになっています。

安倍政権によるアメリカ追随、大企業中心の政治を転換し、安全・安心の医療・介護・福祉、雇用や暮らしが守れる社会の構築と、20万医労連の早期達成をめざし、全国の仲間と力を合わせて奮闘する決意です。引き続き、ご支援・ご協力、ご指導いただきますよう重ねてお願いします。

～「看護・介護の増員」「公立・公的病院再検証反対」の取り組み～

日本医労連では、この1年間「看護・介護の増員」「公立・公的病院再検証反対」の取り組みを進めてきました。

国会決議の採択をめざして2018年度から開始した「安全・安心の医療・介護の実現のための夜勤交替制労働の改善を求める国会請願署名」は、5月8日現在で15万6584筆を集約し、前年20万1722筆とあわせると2年間で35万8306筆に達し、第201回通常国会提出の夜勤改善・大幅増員署名では、賛同・紹介議員の数は100名まで増えました。

介護労働者の処遇改善を求める主な取り組みとして全労連・中央社保協・全日本民医連の3者統一署名「介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める請願署名」に取り組み集約累計は31万1479筆となり、今年度は5市町で決議が上がり決議は累計323自治体となっています。

～「いのちまもる地域キャラバン行動」～

20年9～11月に、「いのちまもる地域キャラバン行動」に取り組みます。今回のキャラバン行動では、新型コロナ感染に直面して浮彫となった国の社会保障抑制政策の転換を求めて運動の集中を呼び掛け、新たに開始する「いのち署名」を推進しようと思意思統一しています。

署名は2021年5月までに医労連としては180万筆を目標に取り組みます。国会請願署名に取り組み意義や必要性、有効性を「署名の力」なども活用し、すべての加盟組合・全組合員に広げながら、職場の取り組みを推進します。

地域労連や社保協、共同する医療・介護関係団体や労働組合と連携し、1788自治体すべての議会への陳情・請願、公立公的病院等再編統合の再検証病院として名指しされた約440病院への働きかけをこの期間に重点的に取り組み、所在地域での住民運動づくりを強め、自治体や看護協会、医師会などの関係団体、地域の医療機関・介護事業所の他、患者・住民団体や町内会などにも働きかけを広げて懇談なども行いながら取り組みを進めようと思意思統一をしています。

ぜひ、各都道府県の社保協の皆さんにもご協力をお願いし発言とします。